

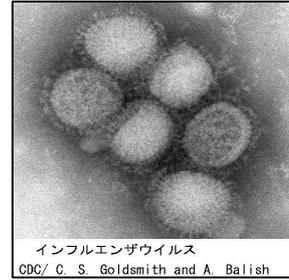
山口県感染症発生週報

(第3週:平成24年1月16日～1月22日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第2週追加: 5例(下関、岩国3例、山口)。第3週: 3例(下関、岩国、周南)。



2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆インフルエンザ: 患者報告数は急増し今週定点あたり30を上回り、警報レベルとなりました。すべての地域で増加し、防府、長門、周南、山口、柳井、岩国は警報レベル、萩、宇部、下関は注意報レベルです。迅速検査では、A型陽性1984例、B型陽性12例、A型B型陽性1例、臨床診断152例でした。また当所では、第2週の検体3例(防府2例、宇部1例)、第3週の検体5例(防府1例、山口1例、長門3例)について検査を行い、PCR法によりすべてA/H3(香港型)が検出されています(うち4例はウイルス分離でも検出されています)。【警報レベル=防府(新)、長門(新)、周南(4週目)、山口(新)、柳井(新)、岩国(新)】【注意報レベル=萩(2週目)、宇部(新)、下関(新)】※
- ◆RSウイルス感染症: 第51週(12/19～12/25)をピークに減少傾向がみられますが流行時期ですので引き続き注意が必要です。
- ◆感染性胃腸炎: 例年と同程度ですが、冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので引き続き注意が必要です。萩、下関、岩国はやや多い状況です。
- ◆水痘: 第52週(12/26～1/1)をピークに減少傾向がみられますが、長門は警報レベルが、下関は注意報レベルが続いています。また、防府は今週新たに注意報レベルとなりました。【警報レベル=長門(7週目)】【注意報レベル=防府(新)、下関(5週目)】※
- ◆伝染性紅斑: 周南は警報レベルとなりました。【警報レベル=周南(新)】※
- ◆流行性耳下腺炎: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(7週目)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	1週	2週	3週	疾患名	1週	2週	3週
インフルエンザ	415	761	2149	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	61	68	57	ヘルパンギーナ	1	0	0
咽頭結膜熱	4	13	8	流行性耳下腺炎	47	46	41
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	95	110	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	358	346	432	流行性角結膜炎	5	10	5
水痘	137	135	117	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	3	3	2	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	14	23	39	マイコプラズマ肺炎	2	4	3
突発性発しん	27	43	37	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	148	265	180	527	287	331	170	163	78	2149
RSウイルス感染症	15	2	8	15	3	1	9	3	1	57
咽頭結膜熱	2	2	0	1	2	1	0	0	0	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	9	4	25	4	26	16	0	4	110
感染性胃腸炎	140	68	10	82	5	30	55	10	32	432
水痘	44	11	5	15	14	11	6	10	1	117
手足口病	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
伝染性紅斑	4	4	6	21	0	2	2	0	0	39
突発性発しん	9	2	2	11	1	4	7	1	0	37
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	8	9	0	4	2	1	1	16	0	41
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	2	0	0	2	0	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0